
社会福祉法人老後を幸せにする会

平成 29 年度 事業計画

平成 29 年 3 月

目 次

I	法人理念・経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
II	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
III	法人事務局・・・・・・・・・・・・・・・・	P 6
IV	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)・・・・・・・・ P 8 短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)	
V	小規模多機能型居宅介護/介護予防小規模多機能型居宅介護	P 1 8
VI	都市型軽費老人ホーム・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2 3
VII	認知症型共同生活介護(グループホーム)・・・・・・・・ P 2 8	
VIII	通所介護/地域密着型通所介護(デイサービス)・・・・・・・・ P 3 2 認知症対応型通所介護 介護予防・日常生活支援総合事業	
IX	訪問介護/介護予防訪問介護(ホームヘルプ)・・・・・・・・ P 3 8	
X	居宅介護支援・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4 0
XI	地域包括支援センター(あんしんすこやかセンター)・・・・ P 4 2	

I 法人理念・経営方針

法人理念

老後を幸せに

— あらゆる人々の老後の幸せを願い行動します —

経営方針

- 1 地域社会と連携して高齢者の権利擁護と福祉の増進に努めます
- 2 法人の総合力を発揮して多様な事業を展開します
- 3 個人の尊厳を守り生活の質を確保したサービスを提供します
- 4 明るく楽しい職場環境のもと人材の確保・育成に努めます
- 5 持続的発展のため経営基盤を強化します

II はじめに

1 社会福祉法人を取り巻く環境

近年、社会福祉を巡る状況は大きく変化し、福祉ニーズが多様化・複雑化しており、その中で社会福祉法人は、これまで以上に公益性の高い事業運営が求められている。

また、介護保険制度の導入以降、株式会社やNPO法人が参入するようになり、多様な経営主体が参画しているが、社会福祉法人のみ補助金や非課税措置などの財政上の優遇措置を受けていることが問題となっている。(イコールフットィングの問題)

このような状況の変化に対応するため、社会福祉法人の在り方そのものを見直していく必要があり、社会福祉法人制度の改革が求められることとなった。

今回の社会福祉法人制度の改革では、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務などが主な内容となっている。福祉ニーズが多様化・複雑化している中で、社会福祉法人は公益性・非営利性を備えた法人としてその役割がますます高まってきている。

2 具体的な取り組み

運営の健全化を推進していく一方で、高齢者が住みなれた玉川地域での生活を継続していけるよう、また要介護高齢者が自立した生活が送れるようにするためには、様々なニーズに幅広く対応できるサービス展開や柔軟な対応力を持つ専門性の高い組織・職員が不可欠である。それらを計画的に具体化していくために、昨年度策定した長期計画を柱とし、地域福祉を発展させ、かつ法人がその使命を全うしていくための取り組みを行っていく。

社会福祉法人老後を幸せにする会の定款の目的には、「多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、事業を行う。」と記されている。この目的に謳われているように、利用者を中心にした運営を基本とし、多様な福祉サービスを創意工夫して提供できるように組織全体で取り組む。

また、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努める。

Ⅲ 法人事務局

1 事業方針

平成29年度施行予定の社会福祉法人制度改革では社会福祉法人における経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務などが盛り込まれており、この制度改革に向けた準備を行う。そして、長期計画に則り組織体制の強化、人材育成を実施し安定的な法人運営を行う。

2 重点項目

経営力向上の取組

(1) 長期財務計画

各施設の建物、設備の劣化、機能低下等を予測して、状況把握から長期修繕計画を作成する。

(2) 財務会計に係るチェック体制の整備

会計監査人による法定監査に向けて内部統制制度を構築し、財務会計システムの見直しも含め、監査導入に適切に対応できる体制を整備する。

人材と組織の成長に向けた取組

(1) キャリアパスの再構築

現行のキャリアパスの見直しを行い、新たなキャリアパスを策定する。

(2) 研修体系の構築

職層研修の充実を柱とした研修体系を策定するとともに、在宅サービス部門と入所部門との人事交流を積極的に行うなどして職員の計画的な育成を進める。

全ての高齢者を対象とした短期滞在型施設の検討

制度の枠に拘らずに高齢者の多様なニーズに対応するため、疾病・障害、介護認定の有無を問わずに、24時間安心のケアサービスを提供する短期滞在型施設を開設するための具体的な計画検討を開始する。

IV 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 短期入所生活介護/介護予防短期入所(ショートステイ)

さつき荘 (従来型) 4月～7月
等々力共愛ホームズ (ユニット型)
(仮称)深沢一丁目特別養護老人ホーム (ユニット型) 8月開設

1 事業方針

社会のセーフティネットとして様々な重度要介護者を受け入れ、質の高い介護を継続する特養の従来の役割に加え、地域を包括的に支える。

また、中重度者や認知症高齢者への対応のさらなる強化、介護人材確保対策の推進、サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制を構築する。

また、さつき荘は平成29年8月に（仮称）深沢一丁目特別養護老人ホームへの移行もあり、介護の質の充実、地域への還元、新施設に向けた準備をする。

2 重点目標

(1) 「地域福祉の核」となる施設機能の充実。

(2) 経営の安定化

稼働率の目標達成、加算の取得等施設状況を踏まえた経営をする。

(3) ケアマネジメントシステムの構築

3 具体的な取り組み

(1) 入所稼働98%、ショート稼働120%を達成するため、入院時の空床のショートステイの活用、退所後の早期入居ができるように利用希望者を毎月1~2名新規に事前面接を行うことをルール化する。また具体的な受入れまでの日数を2週間とする。

●（仮称）深沢一丁目特別養護老人ホームは開設年であるため、稼働率、入所者数、短期入所契約数を以下のとおりとする。



稼働率

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特 養	50.0%	55.2%	66.7%	78.1%	88.5%	94.8%	95.8%	96.9%	78.1%
稼働ユニット数	4	5	6	7	8	8	8	8	6.75
短期入所	40.0%	50.0%	55.0%	60.0%	65.0%	70.0%	75.0%	80.0%	61.9%

入所者数

	4~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規入所者	待機30名	48名	10名	12名	10名	10名	2名	0名	2名

※8月48名はさつき荘からの移動

短期入所契約数

(4月～7月)	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(35名)	40名	45名	50名	55名	60名	65名	65名	70名

- (仮称) 深沢一丁目特別養護老人ホーム入居促進のための待機者を以下のとおり確保する。



	4月	5月	6月	7月
待機者数	5	7	9	9
(延べ数)	(5)	(12)	(21)	(30)

- (2) おむつ、リネン類等を法人として一括購入、契約をすることでコスト削減を図る。
- (3) 「問題の発見・抽出⇒改善⇒評価」を継続的に行い、評価と改善活動という一連のプロセスを通して職種間の議論を進める。
- (4) 少子高齢化が進み、産業構造や雇用形態が変化する中で、働く人の仕事と生活の調和を実現し、社会の持続的な発展を図るワーク・ライフ・バランスの推進が重要になっており、業務の見直しなどによる超勤の削減など様々な取り組みを行う。
- (5) 東京都内初の完全個室のユニットケア特養の施設特性を具現化するためにも、ユニットリーダー研修の東京都23区内初の実地研修施設を目指す。そして、これを目指すことでケアの質向上と業務内容の改善、介護職員の適正配置など法令を遵守し、効率的な業務改善を進め経営の安定を図り地域の福祉拠点となる運営を実施する。

4 運営計画

さつき荘 ※4月～7月末

(行事)

行事	開催日	内容
季節の食事会	2回実施	季節に合わせた献立の食事会
ホーム喫茶(すずらん)	毎月第2・4木曜日	職員とボランティアによる施設内喫茶
誕生日のお祝い	入居者の誕生日	個人の要望に応えた外出企画や誕生会
遠足 6月頃	6月頃	入居者の希望に応えた遠出、浅草や横浜
七夕	7月	七夕飾りの作成、展示
買い物・外出・外食	随時	可能な限り外出の機会を作る

(クラブ活動)

クラブ名	開催日	内容
唄の会	毎週木曜日午前	音楽療法の先生による唄の会
書道クラブ	月1回土曜日	ボランティアによる書道の指導
アロマセラピー	週1回	アロマセラピストによるマッサージ
わくわくデイ・サー ビス	月1回木曜日	入居者と一緒にお買い物・調理・食事・レク 回想法
もみじの会 11会	第2第4木曜日 第1第3水曜日	傾聴ボランティアによる活動。歌やレクレ ーション
月曜クラブ	毎週月曜日	散歩、他レクレーション

(会議・委員会)

会議・委員会	開催日	会議内容
運営会議	月1回水曜日	各部署の状況報告、連絡調整及び協議
職員全体会議	月1回木曜日	施設運営上の連絡、協議 他部門の理解と連携、時事的課題の学習会
介護責任者会議	月1回	各フロアからの状況報告 行事・委員会からの進捗状況確認
フロア会議	月1回	利用者の状況確認 職務分掌からの報告
看護職会議	3ヶ月1回	利用者の状況確認 業務内容の検討、協議
サービス担当者会議	毎月随時	家族参加、サービス計画作成のための意見交 換
リスクマネジメント委員会	月1回、適宜	事故等の情報共有 改善策の検討・協議
心身の拘束廃止委員会	月1回	拘束廃止のための状況の把握や対策協議
「食」を考える会	3ヶ月1回	給食委託業者と連携し、食事内容の検討 利用者満足度調査、食事会等の運営
感染症対策委員会	4・7・10・1月	感染症予防のための検討、協議 情報共有
24時間シート推進委員会	毎月	全ご利用者の24時間シート作成と職員へ の教育、指導
入浴委員会	適宜	業務内容の検討、個別ケアの提案・協議
医療的ケア対策推進委員会	4・7・10・1月	研修、リスクマネジメント、マニュアル検討
個浴推進委員会	月1回	個浴実施の環境整備と職員指導

ショートステイサービス 向上委員会	月1回	サービスの向上と利用者の情報を共有する
研修委員会	月1回	ユニットケア研修等（仮称）深沢一丁目特別 養護老人ホームへの移行に伴う研修実施
ホームページ委員会	6月	法人全事業対象
衛生推進委員会	6月	法人全事業対象
ボランティア委員会	不定期	法人全事業対象
防火管理委員会	4月	法人全事業対象

（防災訓練）

実施月	消 防 訓 練 概 要
4月	地震を想定した通報訓練・新人職員防災設備教育
5月	消火栓による放水訓練
6月	エレベーター救出訓練
7月	火災を想定した避難訓練

（施設整備）

電話点検	月1回
電気設備点検	月1回
調理・洗濯リフト点検	月1回
エレベーター点検	月1回
自家発電（SP）設備点検・届出	年1回（4月点検5月報告）
防災設備点検	年1回（5月）
防災設備検査届出	年1回（5月）
建築設備検査届出	年1回（5月点検7月まで）
特殊建築物等検査届出	年1回（5月）
水質検査	年1回（7月）
雑排水槽・汚水槽・ポンプ清掃	年1回（7月）
排水管ジェット洗浄	年1回（7月）
空調設備メンテナンス	年1回（冷暖房切り替え時）

等々力共愛ホームズ

(行事)

実施月	行 事
4月	花見
5月	端午の節句 ミニバスハイク (ABユニット：新緑)
6月	野点の会
7月	七夕
8月	玉川花火大会観賞会 (全体)
9月	敬老会 (全体) 玉川神社祭礼 玉川福祉フェスティバル
10月	ハロウィン ミニバスハイク (CDユニット：紅葉)
11月	ミュージックコンサート (全体)
12月	クリスマス会 (全体) ミニバスハイク (EFユニット：イルミネーション)
1月	初詣 (等々力不動尊)
2月	節分
3月	ひな祭 野点の会
随時	四季折々の暦食 (毎月)、天麩羅・握り寿司などのユニットクッキング

(クラブ活動)

開催日	内容
歌の会	月3回 (不定期)
花の会	月3回 (第1水曜日、第3月曜日、第4火曜日)
書道の会	月1回 (不定期)
アロマセラピー	月4回 (不定期)
アニマルセラピー	月3回 (不定期)

(会議・委員会)

会議・委員会	開催日
運営会議	月1回
ユニットリーダー会議	月1回
ユニットミーティング	月1回
サービス担当者会議	随時
入所判定会	随時
ユニットケア推進委員会	月1回
事故防止委員会	月1回
感染症対策委員会	月1回
食事委員会	月1回
在庫・環境整備委員会	月1回
防災 (防犯) 委員会	月1回

褥瘡対策委員会	月 1 回
アクティビティー委員会	月 1 回
身体拘束廃止並びに虐待防止委員会	月 1 回

(防災訓練)

実施月	消 防 訓 練 概 要
4 月	新入職員他施設内防災設備確認
5 月	消防設備操作訓練・避難誘導訓練（全棟）火災想定
6 月	消防設備操作訓練・避難誘導訓練（全棟）夜間火災想定
7 月	消防設備操作訓練・避難誘導訓練（全棟）火災想定
8 月	水消火器初期消火訓練
9 月	玉川自衛消防活動技術大会参加 地震時訓練（全棟）
10 月	地域との合同防災訓練（玉川消防署立会）
11 月	消防設備確認、操作訓練
12 月	消防設備操作訓練・避難誘導訓練（全棟）夜間火災想定
1 月	震災時訓練（全棟）
2 月	消防設備操作訓練・避難誘導訓練（全棟）夜間火災想定
3 月	緊急連絡網訓練

(施設整備)

空気調和設備	室外機機器点検 室外機フィン洗淨 フィルター清掃 厨房グリスフィルター・プレフィルター清掃	年 2 回点検 年 1 回 年 2 回 年 12 回
給排水設備	加圧給水放水定期点検 水槽清掃・水質検査・簡易専用水道検査 グリストラップ清掃 真空ヒーター定期点検 水質検査(レジオネラ菌)	年 2 回 年 1 回 年 4 回 年 2 回 年 1 回
昇降機設備	エレベーター、小荷物専用昇降機	年 12 回
消防用設備	総合点検 機器点検	年 1 回 年 1 回
その他付帯業務	建築設備定期検査 害虫駆除 特殊建物定期調査（今年度なし次回 31 年度）	年 1 回 年 2 回 3 年に 1 回

(仮称)深沢一丁目特別養護老人ホーム

(行事)

行事	開催日	内容
季節の食事会	年6回	季節に合わせた献立の食事会
ホーム喫茶	毎月第2・4木曜日	職員とボランティアによる施設内喫茶
誕生日のお祝い	入居者の誕生日	個人の要望に応えた外出企画や誕生会
新春祝賀会	正月	全体での新春の祝い
節分	2月3日	職員が鬼に扮し、利用者の部屋を回る
ひな祭り	3月3日	お雛様をかざり、ひな祭りにちなんだ食事・おやつを提供
お花見	3～4月	梅・桜を見に外出
七夕	7月	七夕飾りの作成、展示
納涼祭	8月	施設内での夏祭り・花火大会観賞
敬老会・玉川神社祭礼	9月	神輿の来所と地域交流会
運動会	10月	紅白対抗戦
クリスマス会	12月	職員がサンタやトナカイに扮してクリスマスパーティー
買い物・外出・外食	随時	可能な限り外出の機会を作る
遠足	春、秋	入居者の希望に応えた遠出、浅草や横浜等

(クラブ活動)

クラブ名	開催日	内容
唄の会	毎週木曜日午前	音楽療法の先生による唄の会
書道クラブ	月1回土曜日	ボランティアによる書道の指導
アロマセラピー	週1回	アロマセラピストによるマッサージ
わくわくデイ・サービス	月1回木曜日	入居者と一緒に行き物・調理・食事・レク回想法
もみじの会 11会	第2第4木曜日 第1第3水曜日	傾聴ボランティアによる活動。歌やレクレーション
月曜クラブ	毎週月曜日	散歩、他レクレーション

(会議・委員会)

会議名	開催日	会議内容
運営会議	月1回水曜日	各部署の状況報告 連絡調整及び協議
職員全体会議	月1回木曜日	施設運営上の連絡、協議 他部門の理解と連携、時事的課題の学習会

介護責任者会議	月 1 回	各フロアからの状況報告 行事・委員会からの進捗状況確認
フロア会議	月 1 回	利用者の状況確認 職務分掌からの報告
看護職会議	3 ヶ月 1 回	利用者の状況確認 業務内容の検討、協議
サービス担当者会議	毎月随時	家族参加、サービス計画作成のための意見交換
リスクマネジメント委員会	月 1 回、適宜	事故等の情報共有 改善策の検討・協議
心身の拘束廃止委員会	月 1 回	拘束廃止のための状況の把握や対策協議
「食」を考える会	3 ヶ月 1 回	給食委託業者と連携し、食事内容の検討 利用者満足度調査、食事会等の運営
感染症対策委員会	4・7・10・1月	感染症予防のための検討、協議 情報共有
排泄委員会	適宜	業務内容の検討 個別ケアの提案・協議
入浴委員会	適宜	業務内容の検討、個別ケアの提案・協議
医療的ケア対策推進委員会	4・7・10・1月	リスクマネジメント、マニュアルの検討
ホスピタリティ委員会	月 1 回	入居者へのホスピタリティを具現化する 環境整備、不適切チェック活動等
ショートステイサービス向上委員会	月 1 回	サービスの向上と利用者の情報を共有する
人生道場委員会	月 1 回	研修企画を担当する
ホームページ委員会	6月・2月	法人全事業対象
安全衛生委員会	月 1 回	法人全事業対象
ボランティア委員会	不定期	法人全事業対象
防火管理委員会	4月・11月	法人全事業対象
マニュアル管理委員会	毎月	マニュアル・手順書・ルールの作成、見直し と全体への周知徹底

(防災訓練)

実施月	防 災 訓 練 概 要
8 月	防災設備教育・防災テスト
9 月	自衛消防活動技術大会参加
10月	玉川消防署と地元和敬会との夜間合同訓練（午後7時）
11月	地震を想定した避難訓練
12月	エレベーター救出訓練
1 月	火災を想定した避難訓練
2 月	抜き打ち訓練（通報訓練）
3 月	消火器による消火訓練・119番通報訓練

(施設整備)

電話点検	月 1 回
電気設備点検	月 1 回
調理・洗濯リフト点検	月 1 回
調理・洗濯リフト検査届出	年 1 回
エレベーター点検	月 1 回
エレベーター検査届出	年 1 回
自家発電 (SP) 設備点検・届出	年 2 回
防災設備点検	年 1 回
防災設備検査届出	年 2 回
建築設備検査届出	年 1 回
特殊建築物等検査届出	年 1 回 (3年に 1 回)
受水槽・高架水槽清掃	年 1 回
水質検査	年 1 回
雑排水槽・汚水槽・ポンプ清掃	年 1 回

V 小規模多機能型居宅介護/
介護予防小規模多機能型居宅介護

(仮称) 深沢一丁目小規模多機能型居宅介護 8月開設

1 事業方針

65歳以上の単独世帯の増加や急速な高齢化の進行を踏まえて、軽度の要介護者を含めた高齢者に生活支援と一体となった住まいを提供する。

また、通いを中心として要介護者の様態や希望に応じて随時訪問や宿泊を組み合わせサービス提供することにより、利用者の居宅における生活の継続を支援する。

2 重点目標

(1) 在宅の継続を支える新たなサービス体系を確立

通いを中心に随時訪問や宿泊を組み合わせることに加え、地域内の連携を強化し、地域ニーズの掘り起こしを図っていくことで、新たな地域支援事業を含めた地域展開を行う。

(2) 経営の安定化

通いを登録・利用の入り口としてとらえ、通いの利用者数を安定的に維持し、かつ、訪問の利用者数も安定的に維持することで登録率の上昇を図る。

(3) 地域包括ケアシステムの拠点づくり

地域と連携した介護予防や認知症の普及啓発、介護家族への相談、地域の共助を醸成すべく地域資源の発掘、育成、活用を重点目標として掲げ、住民、行政、他機関等との連携・協力をする。

3 具体的な取り組み

(1) 地域密着型サービスの柱として、ごく身近にあって、その時々で発生するニーズに応え、家族の疲労をカバーしながら、「住み慣れた家や地域での生活」が実現できるようにする。

(2) 今年度登録率

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
24.1%	31.0%	41.4%	44.8%	51.7%	51.7%	62.1%	62.1%	46.1%

小規模多機能型居宅介護の認知度が十分ではないため、利用者となりうる層への働きかけを行い、意義や役割を広く伝え、通いと訪問に重点を置いた営業を行うことで、登録者数を増やす。

(3) ニーズに応じた橋渡し役、日常的な介護相談役および地域連携役を担う。多様で柔軟性のある特徴を最大限に生かし個別多様なニーズへの対応を実践しつつ、利用者や家族の状況変化に合わせ、併設特養やグループホームへの橋渡し役としての機能も担う。

また、2ヶ月に1回開催する地域住民や行政職員を交えた運営推進会議で、サービスの透明性の発信と地域等からの要望に応える。

4 運営計画

(行事)

行事	開催日	内容
季節の食事会	年6回	季節に合わせた献立の食事会
誕生日のお祝い	利用者の誕生日	個人の要望に応えた誕生日会
新春祝賀会	正月	全体での新春の祝い
節分	2月3日	恵方巻を食べるイベント
ひな祭り	3月3日	ひな祭りにちなんだ食事等を提供
お花見	3～4月	梅・桜を見に外出
七夕	7月	七夕飾りの作成、展示
納涼祭	8月	施設内での夏祭り・花火大会観賞
敬老会	9月	地域交流会
クリスマス会または忘年会	12月	クリスマス会や忘年会と称し、室内装飾に工夫を凝らしての食事会
買い物・外出・外食	随時	今までの生活スタイルに可能な限り近い形態で外出の機会を作る

(クラブ活動)

クラブ名	開催日	内容
唄の会	週1回	音楽療法の先生による唄の会
書道クラブ	週1回	ボランティアによる書道の指導
アロマセラピー	週1回	アロマセラピストによるマッサージ
もみじの会	月1回	傾聴ボランティアによる活動。
月曜クラブ	週1回	レクリエーション

(会議・委員会)

会議名	開催日	会議内容
運営会議	月1回	各部署の状況報告 連絡調整及び協議
運営推進会議	2カ月に1回	家族、住民、行政、他機関等との運営基準に基づいた定例会議
職員全体会議	月1回	施設運営上の連絡、協議 他部門の理解と連携、時事的課題の学習会
サービス担当者会議	随時	家族参加、サービス計画作成のための意見交換
リスクマネジメント委員会	月1回、適宜	事故等の情報共有、改善策の検討・協議

心身の拘束廃止委員会	月1回	拘束廃止のための状況の把握や対策協議
「食」を考える会	3ヶ月1回	給食委託業者と連携し、食事内容の検討 利用者満足度調査、食事会等の運営
感染症対策委員会	4・7・10・1月	感染症予防のための検討、協議 情報共有
入浴委員会	適宜	業務内容の検討、個別ケアの提案・協議
ホスピタリティ委員会	月1回	入居者へのホスピタリティを具現化する 環境整備、不適切チェック活動等
ホームページ委員会	6月・2月	法人全事業対象
衛生推進委員会	6・9・12・3月	法人全事業対象
ボランティア委員会	不定期	法人全事業対象
防火管理委員会	4月・11月	法人全事業対象
マニュアル管理委員会	毎月	マニュアル・手順書・ルールを作成、見直し と全体への周知徹底

(防災訓練)

実施月	防 災 訓 練 概 要 ※特養と合同実施
8月	防災設備教育・防災テスト
9月	自衛消防活動技術大会参加
10月	玉川消防署と地元自治会との夜間合同訓練(午後7時)
11月	地震を想定した避難訓練
12月	エレベーター救出訓練
1月	火災を想定した避難訓練
2月	抜き打ち訓練(通報訓練)
3月	消火器による消火訓練・119番通報訓練

(施設整備)

電話点検	月1回
電気設備点検	月1回
調理・洗濯リフト点検	月1回
調理・洗濯リフト検査届出	年1回
エレベーター点検	月1回
エレベーター検査届出	年1回
自家発電(SP)設備点検・届出	年2回(4月点検5月報告は 消防総合、10月消防機器)
防災設備点検	年1回
防災設備検査届出	年2回

建築設備検査届出	年1回
特殊建築物等検査届出	年1回（3年に1回）
受水槽・高架水槽清掃	年1回
水質検査	年1回
雑排水槽・汚水槽・ポンプ清掃	年1回

VI 都市型軽費老人ホーム

(仮称)深沢一丁目都市型軽費老人ホーム 8月開設

1 事業方針

低所得の高齢者の住宅問題に対応し、地域に根ざした視点で高齢者が身体的、金銭的な理由において自立生活が困難になっても、その人らしい暮らしを継続し、豊かな人生を送れるよう食事の提供その他の日常生活に必要な支援を行いながら、地域福祉の拠点となる施設運営を行う。

2 重点目標

- (1) 身体機能の低下等によりひとり暮らしを続けることが不安な方などが、安心して暮らせるよう、困ったときには支援を受けられる「ケア付きすまい」の役割を果たす。
- (2) 経営の安定化
区内で80名程度が待機状態であるため、状況を見極めながら3ヵ月で満床とする。設備資金借入金の償還、将来予想される大規模修繕に要する経費等を含めた収支とするため、稼働率目標の達成、効率的な運営を追求した安定経営を行う。
- (3) 利用者の人間性、自立性を尊重し、入居者間や地域との交流が円滑、円満にできるようコミュニティの形成に努める。

3 具体的な取り組み

- (1) 心身の状況変化に応じ、併設する小規模多機能・ショートステイ・特養やグループホームなど法人内の適したサービス提供にスムーズにつなげる。
中堅以上のキャリアを持つ介護職員を中心に、施設長、相談員とともに入居者の状況を共有、把握し、必要に応じ適切なサービスへの移行の検討と法人内での情報共有を行う。
- (2) 希望者リストが届き次第（6月予定）、ポイントの高さに加え、健康状態、身元引受人を重点とした判定を行い、稼働優先に施設主導で比較的安定した方から早期入居を行う。

稼働率93.8%

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入居者	7名	8名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	
稼働率	70%	80%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	93.8%

希望者リストが更新される直前の8月開所のため、健康状態や身元引受人などの状況が変わっていることが想定されるため、その確認を速やかに行い早期入居につなげる。

- (3) 施設内に閉じこめるのではなく、ルールを守ったうえでの自由な生活を送っていただけ、本人らしい生活を送れるように支援する。

4 運営計画

(行事)

行事	開催日	内容
季節の食事会	年6回	季節に合わせた献立の食事会
誕生日のお祝い	入居者の誕生日	個人の要望に応えた誕生日会
新春祝賀会	正月	全体での新春の祝い
節分	2月3日	恵方巻を食べるイベント
ひな祭り	3月3日	ひな祭りにちなんだ食事等を提供
お花見	3～4月	梅・桜のスポットを示した地図を作成し配布
七夕	7月	七夕飾りの作成、展示
納涼祭	8月	施設内での夏祭り・花火大会観賞
敬老会	9月	地域交流会
クリスマス会または忘年会	12月	クリスマス会や忘年会と称し、室内装飾に工夫を凝らしての食事会
買い物・外出・外食	随時	深沢地域の商店や散歩コースおよび行き方を記した地図の作成による支援やパンの移動訪問販売車の来訪等

※職員主導の強制性のある行事ではなく、入居者自身が参加を決める。

(クラブ活動)

クラブ名	開催日	内容
唄の会	週1回	音楽療法の先生による唄の会
書道クラブ	週1回	ボランティアによる書道の指導
アロマセラピー	週1回	アロマセラピストによるマッサージ
もみじの会	月1回	傾聴ボランティアによる活動。歌やレクリエーション
月曜クラブ	週1回	レクリエーション

※職員主導の強制性のあるクラブ活動ではなく、入居者自身が参加を決める。

(会議・委員会)

会議名	開催日	会議内容
職員全体会議	月1回	施設運営上の連絡、協議 他部門の理解と連携、時事的課題の学習会
サービス担当者会議	随時	担当ケアマネジャーがいる方で、出席依頼があったときの意見交換
リスクマネジメント委員会	月1回、適宜	事故等の情報共有 改善策の検討・協議

「食」を考える会	3ヶ月1回	給食委託業者と連携し、食事内容の検討 利用者満足度調査、食事会等の運営
感染症対策委員会	4・7・10・1月	感染症予防のための検討、協議 情報共有
ホスピタリティ委員会	月1回	入居者へのホスピタリティを具現化する 環境整備、不適切チェック活動等
ホームページ委員会	6月・2月	法人全事業対象
衛生推進委員会	6・9・12・3月	法人全事業対象
ボランティア委員会	不定期	法人全事業対象
防火管理委員会	4月・11月	法人全事業対象
マニュアル管理委員会	毎月	マニュアル・手順書・ルールの作成、見直し と全体への周知徹底

(防災訓練)

実施月	防 災 訓 練 概 要
8月	防災設備教育・防災テスト
9月	自衛消防活動技術大会参加
10月	玉川消防署と地元自治会との夜間合同訓練（午後7時）
11月	地震を想定した避難訓練
12月	エレベーター救出訓練
1月	火災を想定した避難訓練
2月	抜き打ち訓練（通報訓練）
3月	消火器による消火訓練・119番通報訓練

(施設整備)

電話点検	月1回
電気設備点検	月1回
調理・洗濯リフト点検	月1回
調理・洗濯リフト検査届出	年1回
エレベーター点検	月1回
エレベーター検査届出	年1回
自家発電（SP）設備点検・届出	年2回
防災設備点検	年1回
防災設備検査届出	年2回
建築設備検査届出	年1回
特殊建築物等検査届出	年1回（3年に1回）
受水槽・高架水槽清掃	年1回

水質検査	年1回
雑排水槽・汚水槽・ポンプ清掃	年1回

VII 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

グループホーム奥沢・共愛

1 事業方針

これまでに蓄積した認知症ケアの知識を活用するとともに、地域内の当法人の施設・事業所の連携・協力のもと、家庭的な共同生活の場の中で、個人の尊厳と生活の質を確保したサービス提供を目指し、地域の中で暮らす視点を重視して、安心・安全の生活、その人らしい生き生きとした生活、やすらぎと笑顔のある生活を支援する。

2 重点目標

- (1) 地域密着型サービスの特性を活かし、地域へ発信する。
- (2) 経営の安定化
- (3) 認知症ケアの質を高める。

3 具体的な取り組み

- (1) 地域に住む認知症の方、認知症の方を在宅介護する方に対して、運営推進会議等を通じて発信する機会を作る。また、地域から必要とされ、信頼される事業所となるため、積極的に地域活動に参加する。
- (2) 統一した物品の購入、契約をすること等により経費の削減を行う。
稼働率90%台では安定した経営は難しいため、常に待機者リスト10名以上を確保し、退所者が出る前にケアマネージャーと情報を共有し、連携を図り空床をなくしていくことで100%を目指す。
- (3) 人材の確保・育成を行い職員の安定を図り、あらゆる認知症状に対応できるように、法人内の認知症対応型事業所と情報交換を行い、認知症ケアの質を高める。
入居者のQOLの向上を目指し、職員研修や会議を機能させスキルアップを図る。
認知症を正しく理解し、一人一人の個別性を受け止め、自尊心・羞恥心に配慮したケアを実施する。
入居者の重度化に備え、リスクマネジメント及び介護技術を重点的に向上させる。
- (4) 地域との連携強化
町会、自治会などとの連携、相互理解を深め、日常的に地域と関わり、災害時など協力できる関係を構築する。
- (5) 運動機能能力の向上
開所当初から入所している方が多く、加齢に伴う体力低下がみられるため、生活の中で楽しみながらできる日常生活動作を取り入れた体操を行い、心身の機能を維持する。

4 運営計画

(行事)

開催月	行事	開催月	行事
4月	桜のお花見	12月	クリスマス&忘年会
5月	春の遠足	1月	お正月
8月	納涼祭&花火大会	2月	節分&バレンタインデー
9月	敬老の日	3月	ひな祭り
11月	紅葉狩り		

(会議・委員会)

職務名	内容	開催
運営会議	運営に関する協議、検討	月1回
リスクマネジメント委員会	事故の予見、対応力の向上 事故分析など	月1回 ※臨時で行なう場合あり
食を考える会	食事についての検討、発信	2ヶ月に1回
レクリエーション 生活リハビリ委員会	体操、レクリエーションの提 案、発信	不定期
研修委員会	研修計画と実施	不定期
地域・ボランティア委員会	地域・ボランティアの窓口	不定期
互助会	法人主催	不定期
ホームページ委員会	法人主催	不定期
衛生推進委員会	法人主催	不定期
キャリアパス委員会	法人主催	不定期
運営推進会議	地域、家族、関係機関との施 設運営に関する意見交換	2ヶ月に1回
ユニット会議	ユニットの課題検討	月1回
サービス担当者会議	ケアプランの変更、更新に伴 う検討	不定期
入居検討会議	入居待機者の把握、選定	随時

(防災訓練)

実施日	実施内容
5月	消火訓練
7月	施設内消防施設の案内・確認、消火器の使用訓練
9月	消火・通報・避難の総合訓練
11月	玉川消防署員による講話(消防計画・消防設備の取り扱い)
1月	地震を想定した避難訓練
3月	消防署立会いによる夜間想定総合訓練

(施設整備)

空調用設備	定期点検 フィルター清掃	年 2 回
給排水設備	定期点検	年 2 回
昇降機設備	定期点検 年次検査	年 12 回 年 1 回
消防用設備	総合点検 機器点検	年 1 回 年 1 回
その他付帯業務	植栽剪定	年 2 回

VIII 通所介護/地域密着型通所介護（デイサービス）①～⑦
認知症対応型通所介護 ③ ⑤ ⑥
介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業） ①～⑧

- ①デイ・ホームたまがわ
- ②デイ・ホーム上用賀
- ③デイ・ホーム等々力
- ④デイ・ホーム深沢
- ⑤デイ・ホーム玉川田園調布
- ⑥デイ・ホーム中町
- ⑦デイ・ホーム共愛
(地域密着型/介護予防通所介護)
- ⑧等々力ホームヘルプサービス
(介護予防・日常生活支援総合事業)

1 事業方針

通所介護

利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立った適正な事業を運営し、確かな専門性のある介護を実施することで利用者の在宅生活を支援する。

認知症対応型

利用者個々の意向実現や自主的に参加できる活動の提供、また機能訓練のプログラムを通して安心して楽しく過ごせる在宅生活の継続を支援する。

地域密着型

地域にお住いの高齢者やその家族等が、住み慣れた地域・環境での生活の継続ができるよう、地域・家族と支えあい、連携を図る。

総合事業

要支援者等に効果的、効率的な支援等を可能にするため、玉川地区の実情に応じて、多様な生活支援の充実、高齢者の社会参加と地域における支え合い体制づくり、介護予防・認知症施策等を推進する。

2 重点目標

通所介護

- (1) 今年度より等々力ホームヘルプサービスと協働して、通所サービスを利用していない要介護者を対象とする、「訪問デイ」を実施する。
- (2) 在宅での日常生活動作の自立支援を目標にプログラムを展開し、個別課題に対しアセスメント・モニタリングを通じ多様な選択活動を実施する。
- (3) 登録者数を把握、整理し効率的な運営を行う。また、各事業所の活動エリア、他事業者の動向等の地域特性を考慮し、事業所ごとの特長を打ち出す重点化を図る。

認知症対応型

- (1) 希望の多い利用時間の延長、臨時対応、自宅訪問等、利用者ニーズを踏まえたサービスの充実を図る。
- (2) 安定した収益性確保と利用者/家族の満足度向上に資するサービスの提供、職員の研修環境の推進、運営推進会議、地域連携を図る。
- (3) 認知症サポーター養成講座の受講者を対象として、より実践的な内容を学ぶ、フォローアップ研修を実施する。

地域密着型

- (1) 地域にお住いの介護予備軍の高齢者へのアプローチとして、特別養護老人ホーム併設の事業所特性を活かした互いの活動を通じての、地域住民との交流の機会をつくる。
- (2) 多様なニーズに対応した「個別支援サービス」を実践する。
- (3) 高齢者の身体的特性と機能訓練に関する知識と経験、技術をさらに高める。

総合事業

- (1) 要支援者等に対するサービスの充実と制度改正に伴う収益減を回避するため、全事業所で運動機能向上を目的とした「通所型サービスA」と食事を含む心身活性化活動を行う「通所型サービスB」に取り組む。
- (2) 経営の安定化
介護予防からの全ての移行が完了し、現行相当サービスの拡充を図る。
- (3) 「地域支援サービス」を拡充し、デイ・在宅・地域が繋がる環境を実践する。

3 具体的な取り組み

通所介護

- (1) 中重度者へ質の高いケア、医療ニーズ者に必要な医療ケアを実践し、また、在宅介護をする家族の精神・身体的負担軽減の実現に向けた支援に取り組む。
- (2) 在宅生活を送る中重度介護者・医療ニーズ者が課題を解決するために必要なケア・知識・技術の習得を目指す。
- (3) 稼働率85%を達成するため、事業所内の環境整備、毎月の登録者数の把握、利用者から選ばれる事業所としてプログラムの改善に努める。

認知症対応型

- (1) 認知症ケア、中重度者ケア、医療ニーズ者へのケアの向上
中核症状を取り巻く周辺症状（BPSD）の出現する要因や緩和を追求し、五感を刺激する活動を取り入れ提供する。
- (2) 稼働率75%を目標とした収益改善」および機能訓練、中重度者対応、認知症ケアの向上を重点に取り組む。
- (3) 認知症であっても住み慣れた地域で尊厳が保持され、その人らしく過ごすことができる在宅生活の実現に向け、認知症ケア・認知症カフェを展開する。

地域密着型

- (1) 事業所環境を活用し、マシン（機械）による個別ケアの取り組みと、集団体操や、活発に取り組まれている手工芸などにより、心身の健康と体力の向上を図る。
- (2) 在宅での有する能力に応じた日常生活動作の自立を目標にしたプログラム
個別課題を把握し、積極的な機能回復に向け、自転車こぎ、歩行訓練、脳トレなど

の機能訓練を実践するとともに、在宅で利用者が取組めるようその人に合わせた個別プログラムを策定する。

- (3) 花と緑に囲まれた事業所環境を活かした「地域の立ち寄り所」となるくつろぎと癒しの休憩所を継続する。

総合事業

- (1) 活動カリキュラムに必ず運動機能、転倒予防体操を行い利用者の自立度、能力の低下を予防する。
- (2) 安定した事業運営のために「収支改善」「人材育成」「中重度者・認知症ケア・多様な医療ニーズ」「家族支援」「地域」を重点的に取り組む。
- (3) 新規利用者獲得のためにも主介護者の意向を取り入れ、送迎時時の臨機応変な対応、見学時の送迎サービス、お便りの充実等主介護者に向けたサービスの充実を図る。

4 運営計画

(行事)

開催月	行事名	その他
4月	花見	誕生日喫茶
5月	深沢保育園交流会	誕生日喫茶
6月	カレー作り	誕生日喫茶
7月	七夕まつり	誕生日喫茶 消火・通報訓練
8月	納涼祭	誕生日喫茶
9月	敬老会	誕生日喫茶
10月	秋の遠足 ハロウィンパーティー	誕生日喫茶 東深沢中学校昼食交流会
11月	運動会	誕生日喫茶
12月	忘年会・クリスマス	誕生日喫茶 玉川聖学院交流会
1月	初詣・新年会	誕生日喫茶
2月	梅見	誕生日喫茶 避難訓練
3月	合同作品展	誕生日喫茶

認知症対応型

(行事)

開催月	行事名	その他
4月	花見、開所記念コンサート	世田谷区民合唱団

5月	春の遠足 インターナショナルスクール交流会	
6月	春の遠足	玉川ウクレレクラブ
7月	七夕、納涼祭	ゆりの木女声合唱団
8月		都立深沢高校和太鼓部
9月	敬老会	消火・通報訓練 家族会・運営推進会議
10月	秋のゴージャスランチ ハロウィン仮装会	
11月	紅葉狩り	
12月	忘年会	
1月	新年会、初詣	
2月	節分、梅見、中町小5年生交流会	
3月	ひな祭り、合同作品展 中町小6年生を送る会	避難訓練・総合訓練 家族会・運営推進会議

地域密着型

(行事)

開催月	行事名	その他
4月	花見・/おやつ作り	お誕生会
5月	食事外出	お誕生会
6月	おやつ作り/バスハイク	お誕生会
7月	七夕の会/食事外出	お誕生会
8月	納涼祭・チョット外出・おやつ作り	お誕生会
9月	敬老会・食事外出	クラシックコンサート・お誕生会
10月	秋の外出・おやつ作り	お誕生会
11月	紅葉狩り・チョット外出	お誕生会
12月	共愛鍋・忘年会	ハンドベルコンサート・お誕生会
1月	初詣・初釜	お誕生会
2月	節分・梅見・おやつ作り	お誕生会
3月	合同作品展	お誕生会

* 尚、事業所内防災訓練(毎月)、地域との合同防災訓練(1回/年)を実施します。

総合事業

(行事)

開催月	行事名	その他
4月	花見	自治会サロン、講演会、地域の集い
5月	春の遠足	防災訓練、認知症カフェ
6月	春の遠足	地域ケア会議、地域の集い
7月		自治会サロン
8月	納涼祭	自治会夏祭り、地域の集い
9月	敬老会	消火・通報訓練、地域ケア会議
10月	秋の遠足	自治会サロン、地域の集い
11月	秋の遠足	認知症カフェ
12月	忘年会	地域ケア会議、地域の集い
1月	初詣	自治会サロン
2月		認知症カフェ、地域の集い
3月	合同作品展	地域ケア会議

*ホームヘルプサービスはP38に記載

Ⅸ 訪問介護/介護予防訪問介護

等々力ホームヘルプサービス

1 事業方針

全ての高齢者が安心して住み慣れた地域、在宅で生活を送れるよう、家族支援、関係機関や地域との連携を強化する。

新しい介護予防・日常生活支援総合事業にも積極的に取り組み、健全かつ安定した事業運営に向けて収入増と軽費節減を実践する。

2 重点目標

- (1) 地域との関係構築
- (2) 経営の安定化
- (3) 多様なニーズへの適切なサービス

3 具体的な取り組み

- (1) 4月より地域の連絡会等の情報収集をし、地域住民がボランティアとして係れるよう、年内に訪問介護ボランティア計画を作成する。
- (2) 今年度より1日平均20名の稼働を目標とするため、自転車、軽自動車などにより営業範囲を広げ、サービスの拡充に努める。また、管理者だけでなく、常勤・非常勤も含めた居宅介護支援事業所への営業を4月よりスケジュールリングする。
- (3) 常時多様なニーズに対応するため、法人内他事業所への介護研修を5月より始める。身体介護の研修に重きを置いた所内研修を年4回実施しスキルアップに取り組む。

X 居宅介護支援

玉 川居宅介護支援事業所
上用賀居宅介護支援事業所
中 町居宅介護支援事業所

1 事業方針

要介護高齢者の尊厳の保持と自立した日常生活の営みを目的に利用者が暮らす地域の地域包括ケアシステムの実現を図るために、医療と介護のサービス調整や地域資源の活用を適切に行い、利用者の意向を踏まえそのニーズをプロとしての確に把握し、自立促進型・機能向上型のケアマネジメントの実践を行う事ができるケアマネージャー及び居宅介護支援事業所として、地域に貢献し地域を豊かにすることを目指す。

2 重点目標

- (1) 階層別の知識・技術の向上に向けた年間研修計画策定と実行
- (2) 利用者に関する情報の共有による24時間365日の相談に対応する体制の確保
- (3) 東京都介護支援専門員実務研修の実習生受入れ

3 具体的な取り組み

- (1) 管理者が策定する職員別年間研修計画に基づき、東京都・世田谷区・職能団体等が主催する研修への参加を通して、自らが支援困難ケースや医療依存度の高いケースの相談援助を行い、併せて新任職員への指導も行える主任ケアマネージャー候補の育成を行う。
- (2) 事例検討会や、医療及び福祉に関する諸制度・社会資源に関する勉強会等を毎週行う事により、担当者が不在の時や営業日営業時間外でも利用者・家族の相談に対応できる体制を確保する。
- (3) 実務研修の実習生受入れ事業所として特定事業所加算の算定を継続し、主任ケアマネージャーによる3日間の実習生指導を年に数回行うことにより、事業所や法人内のみならず、地域においても次に続くケアマネージャーを育成する。

4 運営計画

ケアプラン/35件×常勤換算数（ただし管理者兼主任は32件）

認定調査 /3件（常勤）を基準

事業所名	居宅サービス計画	認定調査
玉川居宅介護支援事業所	132件	13件
中町居宅介護支援事業所	137件	12件
上用賀居宅介護支援事業所	92件	8件

XI 地域包括支援センター

等々力あんしんすこやかセンター
九品仏あんしんすこやかセンター
上野毛あんしんすこやかセンター

1 事業方針

今年度は、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の締めくくりの年度として、昨年からはまった、まちづくりセンター・あんしんすこやかセンター・社会福祉協議会三者連携による、各地区単位での地域包括ケアシステムの更なる進展を図ると共に、第7期計画を見据え、切れ目のない在宅医療と在宅介護を実践する。

2 重点目標

- (1) 健康づくり・介護予防の総合的な推進
- (2) 医療と福祉の連携強化
- (3) 地域で支え合う仕組みづくりの推進
- (4) 権利擁護の推進
- (5) サービスの質の向上に向けた事業所への支援

3 具体的な取り組み

- (1) 多様な健康づくりを行うため、いきいき講座をはじめ地域住民への様々な啓発活動を実施し、介護予防を推進する。また、地域住民の自主活動支援や地域づくりをまちづくりセンター、社会福祉協議会と協働して支援を行う。
- (2) 玉川医師会・玉川歯科医師会、玉川砧薬剤師会との定期的な会議体を継続し、医療・介護連携の推進を図るために、情報共有を行いながら玉川地域の切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築に向け取り組みを進める。地区連携医との定期的な会議体を持つことにより、地区における多職種連携を図っていきます。
- (3) まちづくりセンター・地区社会福祉協議会と共同し、地域の福祉人材の発掘・育成と地域の資源開発・ネットワークづくりの推進を行う。
高齢者の見守りを推進するために、民生委員、地域住民と共同し見守りネットワークのさらなる拡大を進める。
- (4) 成年後見制度、地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の普及・促進を図るため、世田谷区成年後見センターと共同で相談会や、普及講座を開催する。
また、保健福祉課と事業者と連携を図り、高齢者虐待の防止と早期発見に努める。
- (5) サービスの質の向上に向けて、多職種との連携会議を開催し、関係者同士の顔の見える関係づくりを構築するとともに事業者への支援を行う。
主任ケアマネジャーの活動を支援しケアマネジャーとの事例検討会や研修会を開催し質の向上を図る。

4 運営計画

【実態把握・介護予防講座/年】

事業所名	実態把握	はつらつ介護予防講座
九品仏地域包括支援センター	500件	19回
等々力地域包括支援センター	1000件	22回
上野毛地域包括支援センター	800件	21回

【介護予防プラン・いきいき講座/年】

事業所名	ケアマネジメントB、C	いきいき講座
九品仏地域包括支援センター	20件	3回
等々力地区包括支援センター	30件	3回
上野毛地域包括支援センター	30件	3回

【新予防給付/年】

事業所	総合事業目標件数
九品仏地域包括支援センター	1440件
等々力地域包括支援センター	3120件
上野毛地域包括支援センター	2520件

【基本チェックリスト/年】

事業所	チェックリスト件数
九品仏地域包括支援センター	100件
等々力地域包括支援センター	200件
上野毛地域包括支援センター	200件